第７章　環境教育の推進

１　環境教育（目標の項目⑮）

目標：環境保全の重要性を認識し、自ら意欲的に行動し、活動の場を広げていけるよう、体系的な環境教育を推進します。

◆目標達成するための指標

環境教育推進計画の策定・計画の実施

持続可能な社会を構築していくためには、すべての人がさまざまな場所で環境保全に向けた実効性のある取組を実践することが必要であり、このためにはすべての人を対象とした環境教育の充実が不可欠となっています。

このような中、国は平成15年に「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」を制定しました。

自然的環境と歴史的環境に恵まれた本市では、環境に対する市民の意識が高く、幅広い分野で市民による自発的な環境保全活動が行われています。

今後は、地域の身近な環境に関する環境教育を推進するとともに、地球温暖化問題など地球環境を視野に入れた環境教育について充実を図るほか、省エネルギー・新エネルギー普及のためのさまざまな情報の提供や啓発活動を行うことが求められます。

平成19年に「鎌倉市環境教育推進計画」を策定しました。環境教育アドバイザー制度を設け、学校等へ環境に関する専門的な知識を有するアドバイザーを派遣するなど、環境に関する 講習会を実施し環境教育の推進を図っています。

（1）　環境教育をする場、素材の整備

●環境教育素材の作成　　＜環境政策課＞

身近な環境問題について、物語やマンガ、写真などでわかりやすく説明した小冊子などを作成しています。「レモンの雨にならないように（酸性雨）」、「悪魔の日光浴（オゾン層が危ない！）」、「ちょっと気になるみずのおはなし」、「沈んだ世界（地球温暖化）」、「鎌倉メダカ」、「ビオトープ」、「くらしの点検シート」、「鎌倉市環境保全行動指針」があり、環境政策課窓口に配架し、また、ホームページでも紹介しています。

写真 7-1　環境啓発冊子

●生涯学習ガイドブック　　＜生涯学習課＞

毎年発行している「生涯学習ガイドブック」には、『いつでも、どこでも、だれでも、気軽に、どんなことでも学べる』ように、講座・催し物、自主学習グループ・サークル、

生涯学習指導者などの情報が掲載されています。また、この生涯学習ガイドブックでは、自然や環境の分野に関わりのある講座・催し物・グループ等の情報についても紹介しています。

●教育資料の刊行　＜教育センター＞

学校における副読本など、環境分野の教材の充実に努めています。小学校３・４年生社会科学習用副読本「かまくら」や中学校社会科学習用副読本「私たちの鎌倉」、中学校理科学習用副読本「鎌倉の自然」において、市の環境政策の概要や市内に生息する動植物・地質などについて紹介しています。また、環境教育研究会では平成13年３月に総合的な学習の時間などで活用できる「かまくら環境教育ハンドブック」を作成しました。現在、様々な場面で活用されています。

●子ども酸性雨調査　＜環境政策課＞

子どもたちが観測調査を通じて大気環境の実態を学習し、大気保全の重要性を理解することを目指し、市内の全小中学校を対象に酸性雨調査を平成９年度から毎年実施しています。 平成19年度は、995人の児童・生徒の参加がありました。調査結果によると、酸性雨のｐＨはここ数年横ばいの状況が続いています。児童・生徒たちからは、「本当に酸性に近くて驚きました」「日にちによってｐＨがだいぶ変わっていた」「昨年度に比べてかなり中性に近くなったと思われます」などの感想が寄せられました。

酸性雨実態調査結果を小冊子にまとめ、酸性雨調査に参加していただいた生徒へ配布するなど環境学習の資料として使用しています。

写真 7-2　酸性雨パンフレット

表 7-1　子ども酸性雨調査参加者数とpH全校平均値

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
参加者数(人)	973	1,235	1,132	1,000	995
ｐH全校平均値	5.1	5.6	5.2	5.4	5.3

（2）　啓発の推進、環境教育の実践

●広報かまくら　＜広報課＞

市の代表的な情報提供媒体として、原則毎月２回発行している広報紙「広報かまくら」があります。平成19年度中の主な環境関連情報記事の掲載状況は、表７－２のとおりです。

表 7-2　主な環境関連情報の掲載状況

	ごみ	みどり	交通	調査結果	その他
掲載回数	13回	11回	４回	３回	６回

●鎌倉ケーブルテレビ　＜広報課＞

鎌倉ケーブルテレビ」の「鎌倉市からのお知らせ」の中で、市の環境政策などさまざまな取組について紹介しています。平成19年度は、環境関連情報の「トピックス」を７本放映しました。この鎌倉市からのお知らせの放映は、土曜日差し替えで１日４回、週28回です。

●かまくらＦＭ　＜広報課＞

かまくらＦＭの「鎌倉市からのお知らせ」でも、市の環境問題・環境政策などのさまざまな情報について放送しました。なお、放送は平日１日６回、土・日・祝祭日１日２回です。

●かまくらGreen Net（http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/）　＜広報課＞

インターネットによる地域情報の交流の場として、「かまくらGreen Net」を開設しています。

「かまくらGreen Net」は、市の環境関連各課のページを通じた最新の環境情報の提供、従来、紙媒体で提供していた情報から電子情報への切り替えによる紙資源の節減などを通じて循環型社会の形成に役立っています。

また、環境政策課のホームページ（http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kankyo）では、「鎌倉市の環境政策」、「かまくら環境白書」、「環境調査データ集」などのデータのほか、その時々の環境トピックスも掲載しています。

●環境に関する図書館資料の充実　＜中央図書館＞

鎌倉市立図書館には、環境をテーマとした資料が2,509点（図書2,272点、雑誌203点、ＡＶ資料34点）（平成20年６月現在）あり、市民の環境学習を支援しています。

●かまくら四季のみどころ・観光地図「鎌倉」　＜観光課＞

環境にやさしい観光を目指して、「かまくら四季のみどころ」や観光地図「鎌倉」に、ごみの持ち帰り、たばこの投げ捨て禁止などを掲載し、観光客などに対する啓発を行っています。

●学校における環境教育の取組　＜教育指導課＞

身近な自然環境や生活環境等に興味を持ち、環境保全に対する認識を深めたり、行動力等を身につけたりするという、いわゆる「生きる力」の育成に視点を置きながら、地球環境の問題や、リサイクル、ごみ問題などをテーマにして、市内小・中学校において、総合的な学習の時間での環境教育・学習の充実を図っています。

平成19年度は表７－３のとおりの取組を行いました。

表 7-3　小・中学校における取組実績一覧

学　校　名	内　　容	学　年
第一小学校	ビオトープつくり	全学年
	海・野山で自然と触れ合う	１～３年
	稲、野菜、花の栽培	１～５年
	環境学習（ごみとリサイクル）	３・４年
	酸性雨調査	５年
	地域清掃（クリーンかまくらキャンペーン）	３年
第二小学校	稲、野菜、花の栽培	１～６年
	環境学習（ごみ問題・リサイクル）	４年
	酸性雨調査	６年
御成小学校	環境学習（ごみの分別）	全学年
	環境学習　水の学習　酸性雨調査	４年
	生物の飼育（カイコ）	３年
	野菜の栽培・無農薬野菜について	３・４年
稲村ケ崎小学校	稲・ひょうたん・野菜の栽培	３～５年
	生物の飼育	３年
	牛乳パックリサイクル	全学年
	酸性雨調査	５年
	湧水・川・海の調査	３・４年
	地域の自然調査（ゴミ調査）	３・４年
	水質浄化センター見学	４年
	海岸清掃（年間2回）	児童有志
七里ガ浜小学校	海岸清掃（年間2回）	児童有志
	生物の飼育、稲・植物の栽培と収穫	１・２・５年
	環境学習（水とゴミ）	４年
	広町の自然と触れ合う	１～４年
腰越小学校	稲・野菜・花の栽培	全学年
	生物の飼育（ワカメとサザエ）	３年
	海で自然と触れ合う	１年
	海の環境についての調査・学習	４・５年
	環境学習（浄化センター見学）	４年
	海岸清掃	６年
深沢小学校	稲・野菜・草花の栽培と収穫（谷戸の活動）	全学年
	環境学習（酸性雨について）	６年
	環境学習（ごみ問題）・エコクッキング	４年
	地域の自然調査	４年
	自然調査と新聞づくり	６年
小坂小学校	稲の栽培	５年
	野菜の栽培・収穫	若竹級
	湧き水・水の学習	３・４年
	環境学習（人と水と自然について）	４年
玉縄小学校	稲・野菜・花の栽培	全学年
	農家の訪問と調べ学習	３年
	環境学習（出前授業・ごみ問題）	４年

学　校　名	内　　容	学　年
	酸性雨調査	5年
山崎小学校	地域の自然観察	4・5・6年
	稲・野菜の栽培	全学年
	生物の飼育（カイコの飼育）	3年
	谷戸学習（清水谷戸・倉久保谷戸）	全学年
西鎌倉小学校	稲・野菜・花の栽培	1・2・5年
	自然との触れ合い・観察	1・2年
	生物の飼育	2年
	環境学習（地域探検）	4年
	酸性雨調査　川と水	4・5年
今泉小学校	稲の栽培	5年
	野菜の栽培	全学年
	環境学習（出前授業・ごみの話・地球温暖化）	4・5年
	ビオトープづくり	全学年
富士塚小学校	稲・野菜・花・へちま栽培	1・2・5年
	牛乳パックリサイクル	全学年
	植物栽培、畑づくり	1・2・5年
	中央公園の自然と触れ合う	1年
	環境学習（水・ごみの調査・学習）、グリーンマップづくり	4年
	落書き消し	6年
関谷小学校	稲・野菜・草花の栽培	1～5年
	関谷川の調査	6年
	酸性雨調査	4年
大船小学校	稲・野菜・花の栽培	全学年
	環境学習（ごみ・上下水道について）	4年
	クリーンセンター見学	5年
植木小学校	稲・野菜の栽培	1・2・5・6年
	酸性雨調査	4年
	ごみの分別収集　牛乳パックリサイクル	全学年
第一中学校	環境学習（修学旅行で自然や環境保全の必要性について）	3年
	地域学習（地域学習をとおして自然や環境について）	1年
第二中学校	グリーンコースの整備	全学年
	身近な自然環境の保全活動	1・3年
	作物の栽培（畑づくり）	1年
御成中学校	自然体験プログラム（谷戸の草刈り、湿地復元作業）	1年
	さつまいも栽培、学校林の手入れ	1年
	環境学習（出前授業・鎌倉の自然環境）、南斜面の整備	2年
	エコスクールの取組	全学年
腰越中学校	作物の栽培・収穫	1年
	環境をテーマとした調べ学習	1年
深沢中学校	環境学習、環境新聞づくり	1年
	校地緑化活動	全学年
手広中学校	地域の環境、自然調査　環境新聞・環境ポスター	1年
	地域清掃活動、リサイクル活動	全学年

学　校　名	内　　容	学　年
	学校緑化・緑のボランティア	全学年
大船中学校	「郷土」をテーマとする調査・体験活動	全学年
玉縄中学校	環境をテーマとした体験学習・施設訪問	１年
岩瀬中学校	地域の自然環境をテーマとした調べ学習	１年
	竹炭づくり・ゴミとリサイクル調査	１年
	自然学習（里山の下草刈り）	３年

●環境教育の人材派遣　＜環境政策課＞

平成19年4月1日に鎌倉市環境教育推進計画に基づいて体系的な環境教育の推進を図るため、学校等の環境教育の場へ環境教育アドバイザーを派遣する制度を創設しました。平成19年度は、市内の小中学校述べ18校へ環境教育アドバイザー等を101人派遣しました。

●環境出前講座　＜環境政策課＞

主に小中学校からの要望に基づく環境出前講座を実施しました。講師は市職員、市民ボランティアや環境カウンセラーで、平成19年度は14回開催し、受講者数は小学生582名、中学生192名、合計774人でした。

表 7-4　環境出前講座実績

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
回数（回）	24	18	17	16	14
受講者数（人）	886	1,027	1,049	756	774

表 7-5　環境出前講座　平成19年度の内訳

No.	月日	対象者	人数(人)	場所	内容
1	5.28	御成小学校（４年生）	75	御成小学校	酸性雨について
2	5.31	栃木市立栃木第一小学校	7	市役所	鎌倉メダカ、扇川について
3	5.31	関谷小学校（４年生）	69	関谷小学校	酸性雨について
4	6．1	深沢小学校（３年生）	115	深沢小学校	酸性雨について
5	6.13	第一中学校（３年生）	4	第一中学校	酸性雨について
6	6.22	鎌倉女子大学中等部（１年生）	63	鎌倉女子大学中等部	酸性雨について
7	7．3	御成中学校（２年生）	99	御成中学校	鎌倉の環境について
8	7．6	西鎌倉小学校（４年生）	109	西鎌倉小学校	酸性雨について
9	7.17	山崎小学校（５年生）	80	山崎小学校	酸性雨について
10	10.24	富士塚小学校（５年生）	66	富士塚小学校	酸性雨について
11	10.25	関谷小学校（６年生）	60	関谷小学校	関谷川の水質と生物
12	11.2	食育カレッジ	13	深沢学習ｾﾝﾀｰ	循環型社会と地球温暖化
13	11.12	食育カレッジ	13	鎌倉学習ｾﾝﾀｰ	循環型社会と地球温暖化
14	11.15	清泉小学校（５年生）	1	清泉小学校	鎌倉の環境について

合計			774		

●他課と共同した環境教育の推進　＜市民健康課・環境政策課＞

市民健康課が主催する「かまくら食育クラブ養成講座」（地域で鎌倉の食育を推進するボランティアを育成する講座）において食を通して環境を考える単位を設けています。

この中で「食の３Ｒを考える」と題した講話や環境に配慮した調理実習を行い、併せて環境政策課職員が地球温暖化の現状やその対策などについて話し、省エネ行動・環境にやさしい生活の普及啓発を行いました。

●「収穫まつり」における環境保全、地産地消ＰＲ活動

＜環境政策課・資源循環課・市民健康課＞

毎日の生活の中で、ごみダイエットや省エネ行動などを心がけることで、鎌倉にも、地球にも、そして、からだにも優しい環境づくりを考えていただくことを目的とするPR事業として「からだ元気・かまくら元気・地球元気in収穫まつり」のブースを設置しました。（JAさがみ鎌倉地区運営委員会主催「収穫まつり」会場・大船中学校） また、かまくら食育クラブ（地域で鎌倉の食育を推進するボランティアのネットワーク）の協力で、鎌倉で育った農作物を利用したメニューの提供を行い、地産地消をPRしました。

●鎌倉市職員の環境教育　＜環境政策課＞

市では、環境保全に関する職員の資質を高めるため研修等を実施しています。

表 7-6　環境保全に関する研修

実施部門等	研修等の名称	対象・参加人数	内容
行革推進担当	オフィスごみの分別について	職員　7　名	オフィスごみの収集日に受けた注意事項を部門内に周知し、分別の徹底を図る
世界遺産登録推進担当	部門研修	職員　9　名	身近な環境活動の周知
市民経済部	部門研修	本庁以外の職員	資源物排出状況の調査及び分析
	環境保全活動研修	部門職員	地球温暖化についての講義
	部門研修	本庁職員	資源物排出状況の調査及び分析
こども部	環境教育	職員　24　名	資源物とゴミの分別
環境部	環境政策の進展と自治体	職員　25　名	環境問題の推移と自治体
都市整備部	職場巡視・安全衛生点検セミナー	職員　　7　名	職場巡視に関する実施研修
	環境の整備	職員　10　名	敷地内清掃及び草刈（3回実施）
生涯学習部	環境マネジメント研修	職員　51　名	鎌倉市役所の環境マネジメント報告書について

	鎌倉市内の水道事情	市民　22　名	鎌倉市や県の水道の歴史や水資源の現状と課題及び、各家庭でできる節水術など
	身近な公害と環境問題を考えよう	市民　10　名	人口増加と環境問題、公害問題と環境問題の違い
	急転換する地球温暖化と世界のエネルギー事情	市民　34　名	地球温暖化問題と資源エネルギーの現状、原子力利用の現状と課題
	世界と日本のエネルギーを考える	市民　27　名	世界や日本におけるエネルギーの歴史や現状、今後の課題

表 7-7　エコアクション推進委員会事務局により実施した環境保全に関する研修

研修等の名称	対象･参加人数	内容
EA21総務担当者研修会	各部門総務担当者　21 名	かまくらエコアクション21データ収集の方法について説明
EA21実行推進員研修会	各実行推進員等　59 名	鎌倉市役所の環境マネジメント報告書平成19年度版について説明
EA21実行推進員実務研修会	各実行推進員等　48 名	不要紙類の分別･回収業務を体験

●教育研修会の実施　＜教育センター＞

平成19年度は、理科・総合研修会として、「相模湾の生物～磯の観察と館内見学～」というテーマで、いろいろな海洋生物についての知識を得、相模湾の生物の多様性について再認識しました。また、「地層の観察」というテーマでも実地巡検し、露頭を観察しながら鎌倉の地質や地層の特徴について学びました。

●環境保全に関する作品コンクール　＜環境保全推進課・みどり課・下水道課＞

夏休みの自由研究として、平成７年度から毎年、市内の小学校４～６年生と中学生を対象に環境保全に関するポスターの「作品コンクール」を実施しています。

平成19年度は「緑」（小学生４～６学年、中学生対象）と「まちの美化」（中学生対象）という二つのテーマで実施され、応募作品（ポスター）は緑に関するものが655点、美化に関するものが281点で、その中から「緑」では40点が優秀作品として選ばれました。

小中学生及び一般の方を対象に9月10日の「下水道の日」にちなみ、㈳日本下水道協会及び㈱日本水道新聞社主催で、「下水道いろいろコンクール」が実施され、平成19年度は標語11点、書道1点、作文2点の合計14点の応募がありました。

●環境保全関連講座の開催　＜生涯学習課・青少年課＞

市民や青少年を対象に、環境保全に関心を持ってもらうため、表７-8のとおり講座を開催しました。

表 7-8　環境保全関連講座開催状況

講座名	開催期日・主催	参加者数
私達の生活を豊かにするナノテクノロジー	平成19年12月14日(金) 鎌倉生涯学習センター	31人
鎌倉市内の水道事業～水源から蛇口まで～	平成19年10月25日(木) 鎌倉生涯学習センター	22人
きれい社会の落とし穴「自己免疫力をつける」	平成19年７月31日（火） 腰越学習センター	60人
急転換する地球温暖化と世界のエネルギー事情	平成20年2月6日(水)・13日(水)・20日(水) ・27日(水) 深沢学習センター	111人
身近な公害と環境問題を考えよう	平成19年10月6日(土)・13日(土) 深沢学習センター	14人
世界と日本のエネルギーを考える	平成19年12月1日(土)・8日(土)・15日(土) ・22日(土) 大船学習センター	86人
日本人の食文化－醤油の歴史とその効用	平成19年12月11日(火) 玉縄学習センター	17人
楽しい科学教室「海洋教室」	平成19年7月21日(土) 玉縄青少年会館	20人
楽しい科学教室「環境教室」	平成19年10月6日(土) 玉縄青少年会館	11人
光学教室－顕微鏡で物を見る	平成19年4月29日(日) 鎌倉青少年会館	15人

●消費生活移動教室・消費生活講座の開催　＜市民活動課＞

身近な生活知識（食の安全、住生活、金融商品の知識など）をテーマに取り上げて、学習の場を提供しています。平成19年度に開催した環境問題に関連した教室等の状況は表７-9のとおりです。

表 7-9　移動教室・消費生活講座の概要（環境問題関連）

講座名	内　　容	参加者
夏休み子ども教室 実験！飲み物の甘さと排水への影響	ジュース、菓子などに含まれている糖分を実験によって確認し、また、排水への影響などを学ぶ	63人

●市民団体による史跡案内　＜市民・事業者＞

鎌倉シルバー・ボランティアガイド協会では、郷土史を学習した鎌倉市在住の60歳以上の高齢者102名が鎌倉市内の史跡、名所などをガイドしています。

同協会は「かまくらの歴史案内人」として、鎌倉の観光ガイドを希望される方を対象とした「一般ガイド」と協会が企画する「史跡めぐり」を実施しています。平成19年度には「一般ガイド」では年間8,210名を案内、「史跡めぐり」では12,100名が参加しました。

その他に、小・中学生の総合学習・修学旅行の生徒、諸団体4,650名の案内を含めて、

総数24,960名をガイドしました。

協会では、会員を対象に毎月研修会を開催して、歴史的遺産や自然環境の保全、美しい街づくりなど環境保全の啓発を行っています。

また、鎌倉に訪れた方々に古都鎌倉の良さを案内するなかで、ごみの持ち帰り、まわりの生物を大切にすること、歩行中のオシャベリ禁止など、環境に対する啓発活動を実施しています。

●こどもエコクラブ　＜市民・事業者＞

次世代を担う子どもたちに対する環境保全活動・学習の場として、平成７年度から環境省が主唱して都道府県や市町村との連携で始まった「こどもエコクラブ」があります。こどもエコクラブは、子どもたちが自発的に楽しく継続的な活動を行うことを目的としています。

なお、市内のクラブ数は、表７-10のとおりです。

表 7-10　こどもエコクラブ登録数

	平成18年度	平成19年度
クラブ数	2	3
メンバー数	45人	140人

（3）　各主体の連携

「環境共生都市の創造」に向けた具体的な目標を達成していくためには、市民、事業者、滞在者、市のそれぞれが環境に関心を持ち、環境に対する自らの責任と役割を理解することが重要です。市民団体等の協力を得て、環境教育・学習を推進するとともに、自発的な環境保全行動の取組を活性化するとともに、その活動を広げ、地域社会全体に定着させていかなければなりません。

●環境保全団体活動に対する支援　＜環境政策課＞

市では、市内の環境保全団体の自発的な活動を促進するための支援策として、環境保全に関する学習会等を行う場合に講師を派遣する助成のほか、活動における通信費の負担を軽くし、より多くの環境保全情報を提供するため、環境保全団体の会員の方への会報などを郵送する通信助成を行っています。さらに、環境保全団体が実施する催しについての後援も行っています。後援の内容は、後援名義の使用承認、催しの施設提供、「広報かまくら」への掲載及び必要な電話の取次ぎなどです。なお、これまでの実施状況は表７-11のとおりです。

表 7-11　環境保全団体に対する支援の実施状況

項目 / 年度	通信助成		講師派遣助成		後援	
	団体数	支援実績	団体数	支援実績	団体数	支援実績
平成18年度	7	1,509通	3	4回	6	12回
平成19年度	6	1,223通	2	3回	7	9回

●市内環境保全団体等の活動状況　＜市民・事業者＞

市内には、自然保護、美化、環境教育など環境保全に関する様々な活動を行っている市民団体があります。これらの団体から平成19年度の活動内容を報告してもらい、原文のまま掲載しました。（五十音順）

団体名	鎌倉を美しくする会	会員数	28名	代表者	高田晶子さん
活動目的	散乱ごみゼロとベンチで憩う美しいまちづくり				

【活動の内容】

落書き防止・消去活動

➢6/23逗子海岸擁壁全面サポート参加
➢11/6山崎跨線橋横民家長塀 JR･市との協働作業
➢常時町中落書きのチェックと消去及び担当課に情報提供

展示・研修等

➢５/12～13市民活動フェスティバルパネル展示「屋外物広告を考えてみませんか。危険で汚い違反屋外物広告は、まちの景観を損ねています。」
➢９/10「屋外広告の日鎌倉駅東口界隈キャンペーン」都市景観課主催。当会協力員３人参加
➢11/15第９回アダプトシンポジウム：於　品川プリンスホテル
➢11/27-12/3鎌倉NPOセンター主催鎌倉駅地下道ギャラリー展示参加

散乱ごみ防止・清掃活動

➢５月連休（５/３、４、５）若宮大路とその周辺
➢５/26若宮大路一の鳥居周辺歩道柵の下の堆積土除去作業
➢８/10花火大会　散乱ごみ防止活動
➢正月三が日若宮大路とその周辺啓発清掃
➢通年　バス停ベンチ設置周辺の見回り、清掃と管理

懇談会

➢1/9「大船駅笠間口周辺の美化問題について」〔ゲスト：鎌倉市環境部環境保全推進課、景観部都市景観課、拠点整備部大船駅周辺整備課各課長、都市整備部道水路管理課横浜市栄区役所 総務部地域振興課資源化推進担当職員(オブザーバー出席)〕

提　言

○ 鎌倉市：(仮称) 鎌倉市ｺｲﾝﾊﾟｰｷﾝｸﾞの設置等に関する指導要綱素案に関する意見
○ 鎌倉市長:大船駅笠間口周辺の美化問題の件
横浜市栄区長：大船駅笠間口周辺の美化問題の件

【活動の成果】

○ 違反屋外物広告除却協力員の成果（当会から４人）
制度が出来て5年目。対象物が激減し喜んでいた矢先、７月スチール･ステンレス製のスタンド広告が出現。類似の古い広告も街中に放置されたままになっており、担当課に報告しながらこの機会に新旧違反広告を一挙に撤去することが出来ました。

○ 大船駅笠間口周辺の美化問題懇談会
市境の位置を関係者全員で確認し、明確になり、一気に問題解決と周辺の美化管理態勢が整いました。

特記事項

○ バス停ベンチ設置活動４年目、ベンチが壊されるという想定外の事件に遭遇しました。警察への被害届、補修費の出費も強いられましたが、維持管理の大切さを再認識しました。

■2007年度バス停ベンチ設置箇所（2007年４月～2008年３月）

設置日	場所(停留所名)	台数	種類	撤去数	道路	管轄
2007 年 5/07	北鎌倉台（大船方面）	１台	更新	３台	市道	鎌倉市
5/07	白山神社前（大船方面）	１台	更新	３台	市道	鎌倉市
5/07	中町（大船方面）	１台	更新	２台	市道	鎌倉市
5/31	常楽寺（大船方面）	１台	更新	３台	市道	鎌倉市
5/31	下関（大船方面）	１台	更新	２台	市道	鎌倉市
5/31	上岩瀬（大船方面）	１台	更新	２台	市道	鎌倉市
3/31	大船住宅前（鎌倉方面）	１台	更新	１台	民地	マンション
3/31	平島①(横浜方面)	１台	更新	３台	県道	神奈川県
3/31	平島②（大船方面）	１台	更新	３台	県道	神奈川県
2007 年度	合　計	９台		２２台		

2003年度～2007年度　61箇所バス停に70台設置。撤去した違反ベンチ台数168台

団体名	鎌倉を楽しくする会	会員数	104名	代表者	伊藤泰三郎さん
活動目的	「鎌倉の歴史を背にしてボランテイア」とのキャッチフレーズに鎌倉の文化を探求しながらまちの散乱ゴミを12年間拾っている。				

【活動内容】

神奈川県には17の国宝がある。そのうち15が鎌倉にある。鎌倉以外では、金沢文庫の称名寺(北条の絹本)と藤沢の遊行寺(一遍上人聖絵)であるが中身は鎌倉である。

鎌倉は世界遺産登録の運動中である。まち自体をもっと美しく保たねばならない。

活動日	活動場所	活　動　内　容	参加者数	ゴミ拾い実績（ﾘｯﾄﾙ）		
				燃えるゴミ	ビン･缶	その他
平成19年4月18日(水)	大磯海岸と城山公園	大磯海岸サイクリングロードと海岸をクリーンＵｐ。	23 名	200	100	50

5月7日 (月)	仏行寺の法話とツツジ	県道藤沢～鎌倉線とそれに並行するわき道のクリーンＵｐ。立野住職の法話は「家庭の仏壇」。	22名	70	15	15
6月6日 (水)	光明寺	大谷上人の法話、歴代ご住職の御廟所の清掃。	31名	―	―	2,000 落葉等
7月25日 (水)	満福寺	境内・本堂展示室見学。弘法大師の教え、腰越状などを拝見した後腰越港とその周辺をクリーンＵｐ。	16名	100	70	50
8月8日 (水)	鶴岡八幡宮ぼんぼり祭り	昭和13年から続く、内外の文化人によるぼんぼりを鑑賞した後、納涼祭。	34名	―	―	―
9月19日 (水)	披露山公園～逗子海岸	源平の古戦場、鎌倉幕府への貢物を披露した所、などを見て、「太陽の季節の碑」までクリーンＵｐ。	20名	150	30	―
10月9日 (火)	資生堂鎌倉工場	資生堂福原名誉会長との鼎談は中止、工場見学。Ｔｉｍｅｓ第17駐車場のクリーンＵｐも雨で中止。	40名	―	―	―
11月21日 (水)	甘縄神社	鎌倉最古の神社「甘縄神社」露木氏子代表のお話と、境内清掃。	26名	―	―	50
12月19日 (水)	覚園寺と獅子舞の紅葉	覚園寺を拝観の後、300年前に手広から移築された内海家を拝見、紅葉の獅子舞見物とクリーンＵｐ。	27名	25	5	1台 自転車
平成20年 1月22日 (火)	散在が池から称名寺	現地在住の会員、奥山さんの案内で「せせらぎの小径」から「散在ヶ池」を散乱ゴミを拾いながら歩く。	26名	10	―	―
2月26日 (火)	鎌倉文学館と名刀「正宗」	鎌倉文学館にて本阿彌光次先生の「鎌倉文化と日本刀」の講話を伺い、本覚寺までゴミ拾い。	23名	40	20	―
3月26日 (水)	浄智寺から源氏山公園へ	鎌倉五山第4位浄智寺前住職朝比奈宗泉さんの法話、境内散策のあと源氏山までクリーンＵｐ。	26名	25	―	15
年間活動日数　12日		延べ活動人員	314名（前年比122%）			
※他にまち美化クリーンデー参加がある。		回収ゴミ実績（ﾘｯﾄﾙ）	620	240	2180	

＜ひとこと＞

①各月のボランテイア企画は企画委員の自主的提案をベースに実施している。

②東鑑・源平盛衰記などの資料から鎌倉のエリアはもっと広域に見るのが正しい。少なくとも横浜市西部・三浦・葉山・逗子・藤沢は鎌倉であり、鎌倉の景観づくりに含めること。

③鎌倉の世界遺産登録には、社寺以外の民間建造物、公的インフラの景観整備が必要です。例えば、雲の巣状の電線、街中のガードレール、舗道のフラット化、など。

団体名	かまくら環境会議	会員数	43名	代表者	大道不二子さん
活動目的	自然保護、調査活動、環境啓発、環境学習支援、学習会、情報発信				

【活動の内容】

○ 鎌倉市の河川維持管理協力団体として、生物・水質調査を原則として奇数月の第３土曜日に、水部会を中心に年５回実施しました。その他、扇川のホタルの鑑賞会を1回開催しました。また、扇川の清掃及び草刈を1回行いました。
○ 環境教育支援として、10月に関谷小学校6年生の関谷川環境観察を支援しました。
○ ２月に学習会『鎌倉市自治基本条例』素案大綱案について市民会議のメンバーと意見交換をしました。
○ 海洋生態観察として、6月に「海岸調査」を実施し、鎌倉の海の現状を知りました。
○ 大気中の窒素酸化物測定を6月と12月に年2回実施しました。
○ NPOセンターフェスティバルに参加し展示をしました。
○ まち美化運動連絡会に参加し、美化活動に協力しました。
○ ５月と9月に神戸川環境調査を実施しました。
○ かまくら環境保全推進会議に団体委員として参加し、市の環境政策推進に協力しました。
○ 広町の水質調査及び生きもの調査を１回行いました。
○ 「扇川だより」を発行しました。
○ 石原谷戸の環境調査を３回実施しホタル観察会を行いました。
○ 11月に他の市民活動団体が開催した鎌倉高校前・海岸調査にアドバイザーとして参加しました
○ ３月に「小網代の干潟」の観察会を行い地元の市民団体と交流しました。
○ ４月に環境政策課と話し合いをもちました。

【活動の成果】

○ 扇川の水質・生物データを市に提供し、共有することができた。
○ 環境教育では、市民や子供達への支援をすることで、啓発の一端を担えた。
○ 行政や企業、また他の市民団体との協働により、意識の共有ができた。
○ 環境保全やまち美化に貢献できた。
○ 「よへい屋敷谷戸の会」にアドバイザーとして参加しました。

団体名	鎌倉湖エコクラブ	会員数	28名	代表者	横溝節夫さん
活動目的	周辺の自然環境保全、その学習、調査				

【活動内容】

○　公園及び砂押川上流域の環境保全として，雑草の除去、清掃、河川管理を定期的に行っている。

○　環境学習会として毎年一回フォーラムを開催している。本年は第８回として「自然の知慧」として賢明に生きる植物をテーマに講師の話、その後意見交換をした。

○　小学生を対象に、資源の大切さ、自然保護の重要さを知ってもらうイベント（寺子屋塾）を２日間にわたって行った。

○　　鎌倉湖エコクラブ通信を年数回（不定期）発行している。

【活動の成果】

○　砂押川上流域に多くの生物（ホタル・魚類・カニ類）が戻ってきている。

○　鎌倉湖の水質悪化をアピールも、行政は動かない。

○　小学生が自然の大切さを理解しはじめている。

団体名	鎌倉自主探鳥会グループ	会員数	142名	代表者	岩田晴夫さん
活動目的	自然観察、自然保護、水質･動植物調査、環境教育、エコアップ作業、政策提言				

【活動の内容】

私達は、(財)日本野鳥の会・神奈川支部の趣旨に基づき、野鳥を通じて自然に親しむと共に、自然の保護と住環境のアメニティーの向上をはかることを目的として活動を実施しています。

① 一般市民対象の定例自然観察会「鎌倉自主探鳥会」を毎月２回実施。
自然観察の精神と方法の普及、自然観察会リーダーの養成、地域的な自然保護活動の促進、都市公園と緑地のエコアップ(生息環境向上)を図ること等が目的です。コースの途中、佐助川の清掃･エコアップ･水質と水生生物調査、佐助稲荷のエコアップ(1993年５月～)、源氏山公園の野鳥用水場の清掃、台峯緑地と鎌倉中央公園の動植物調査やエコアップ(1993年５月～)等の作業を実施。

② 源氏山公園の野鳥誘致施設の管理(1984～)。

③ 鎌倉市傷病鳥獣保護搬送システムへの協力を委託されています（1993～)。

④ 平成６年以降、鎌倉市から鎌倉市緑のレンジャー(ジュニア)指導員の委嘱を受け、鎌倉市緑のレンジャー(ジュニア)の活動を年間10回指導。

⑤ 鎌倉市道水路管理課から「道路・河川維持管理協力員」の委嘱を受ける(1997～)。佐助川のエコアップ活動･水質調査･水生生物調査･清掃･草刈り等を実施しています。

⑥ 鎌倉中央公園の管理運営協力団体として、鎌倉中央公園の管理に対し、既存の野生動植物ができるだけ保全されるように、基礎データを提供すると共に、具体的な方法を提示し、エコアップ作業と環境モニタリング調査を実施。

⑦ 教養センターの「バードウォッチング」講座の講師を務める。

⑧ 「鎌倉の海岸動植物の生息分布調査」をかまくら環境会議・鎌倉市緑のレンジャー指導員と協力し、鎌倉市の後援を得て実施し(1996～)し、海岸動植物の保護策を提言。

⑨ (財)日本野鳥の会の全国一斉ガンカモ調査に協力(１月)。

⑩ 鎌倉市内を春秋に通過するタカ類の渡り調査、鎌倉市内の自然環境台帳づくり、酸性雨調査、河川の水質と水生生物調査等を実施。

⑪ 自然保護団体や自治会・学校関係の自然観察会等に講師を派遣。

⑫ 鎌倉メダカの保護増殖。市役所前のビオトープ池の管理・モニタリング調査に協力。

⑬ 鎌倉市野生鳥獣対策協議会のアライグマとタイワンリスの現地調査に協力。

【活動の成果】

鎌倉中央公園の湿性花園内に既存動植物の保全区域を維持している。主要緑地における環境モニタリング調査と湿地環境のエコアップ作業を継続。近郊緑地保全地区や公園整備中の夫婦池等の自然環境調査結果から、神奈川県藤沢土木事務所と鎌倉市の管理・整備に対しアドバイスし、既存の動植物の保全に寄与しました。

団体名	鎌倉消費者連絡会（H19年度版）	会員数	団体会員９団体 個人会員10名	代表者	海老沢　克枝さん
活動目的	市民が安心してより良い消費生活が送れるよう生活環境全般の保全と向上を目指す。				

【活動の内容】

市民のための学習会、セミナー、講演会の開催。
行政への意見具申。
友誼団体との協力など。

団体名	鎌倉中央公園を育てる市民の会	会員数	994名	代表者	会長　吉野俊雄
活動目的	鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観や多彩な動植物を保全する市民活動				

【活動の内容】

「鎌倉中央公園」第一工区開園(1997年)以来、運営協力してきた谷戸ボランティアの会10団体の各活動を継承し、準備会議を重ね2004年4月に全面開園に合わせて行政との協働で本会を発足させた。

当会は7つの活動班①田んぼ班(湧き水を利用した伝統的作業の米作り)②畑班(根菜・豆・麦等を中心に、堆肥を利用した循環型の無農薬農法)③雑木林管理班(下草刈りや間伐などの雑木林の手入れ等)④農芸班(農産物・谷戸資源の加工)⑤自然遊び班(農作業の手伝いを含む子どもの自然遊び)⑥生態系保全班(動植物の観察や調査、小動物が住み易い環境作り)⑦植物育成班(谷戸に自生する植物の保護、育成)を設け、この班活動を中心に鎌倉中央公園内の谷戸において、昔ながらの農林作業や保全作業を行いながら、谷戸の景観と自然生態系を守り育て、里山の復活再生を目的とする。

幹事会の開催(3回)

- 活動連絡会の開催(毎月１回)
- 体験学習マニュアル作成会議(8 月より月例)
- 特定非営利活動法人設立準備委員会(2 回)
- 谷戸の保全に必要な季節に応じた７つの班活動(年間３１０回)
- そのうち、協働事業として公園協会から報奨金(年間 70 回)
- 近隣の小・中学校の総合的な学習(農体験を通した環境教育)の受け入れ(深小１・３・５・６年、附属小５年、富士塚小５年、御成中１年、玉縄中１年、深沢中２年・陸上部、教育支援教室ひだまり
- 事務局の運営(木曜を除く毎日６時間、交代制で実施)会員、一般市民、各種団体の問い合わせ対応・案内、行政交渉、広報活動、各メディアからの取材対応、谷戸パトロール、各班の平日補助作業等
- 谷戸まつりを開催し(年２回)、公園で収穫した農産物や加工品を参加者に頒布

他団体からの訪問、谷戸体験活動の受け入れ(近隣子ども会・町内会、「てらこや」の「田んぼ体験」、鎌倉ＮＰＯセンター主催「団塊プロジェクト」参加者の体験活動、かまくら子育て支援グループ懇談会の里芋堀、梶原山子ども会、深沢小教員の夏の補助作業指導、鎌倉市立保育園保育士の研修、「秋の谷戸を描こう」鎌倉美術連盟と協働開催、茅ヶ崎清水谷戸を愛する会の谷戸案内、横浜若者サポートステーション体験作業の指導、海の一日冒険遊び場にスタッフ参加、境川・引地川水系水質浄化促進協議会講習会の受け入れ、ＰＨＤ協会よりアジア研修生の体験・案内、法政大学生５名の谷戸体験作業の受け入れ、食育講座より研修生の体験作業の受け入れ、茅ヶ崎里山公園倶楽部より

活動見学・相談に対応)

- 他団体等への事例発表(「子ども未来ファンド助成金」報告会、全労済助成金受領式で発表、恵泉女学園大学人間環境学科、自然保護論エコミュージアム論にて「山崎の谷戸における市民活動」の講義、田園自然再生シンポジウム(農林水産省及び農村環境整備センター主催)にてパネリストを務める。)
  他団体への訪問、参加など(鎌倉ＮＰＯフェスティバル、ＮＰＯ主催研修会、子どもみらいファンド助成総会、かまくら食育クラブ定例会等、台峯連絡会定例会、山崎夏祭りに神輿の担ぎ手、スローフードフェア２００７、かまくら子育て支援グループ懇談会定例会・一日冒険遊び場など、てらこや5周年記念親睦会、金田平氏お別れの会、鎌倉散策連続出版を励ます会、山崎の秋の大祭、深沢小学校ふれあい広場、味噌永のみ、風致保存会「みどりの環境感謝の日」下草刈り、山崎賀詞交換会(北野天神)、舞岡公園まゆだまづくり講座、ＮＰＯセンター協働部会・協働講演会、環境政策課「環、境アドバイザー意見交換会」、山崎の祈年祭、風致保存会主催「中学生のボランティア」、関谷小学校わくわく体験遊び場、0123吉祥寺の子育て支援施設、
- 農産物の寄付提供(大船中学に稲苗、和の会にじゃがいも、「海の一日冒険遊び場」にじゃがいも、深沢小学校ふれあい広場炊き出しに谷戸米、深沢地区社会福祉協議会主催バザーにさつまいも、風致保存会に新米・さつまいも・さといも・ねぎ、山崎地区の方３名へ農作業の指導お礼として藁、障害児支援施設「のんびりスペース大船」へもち米
- 会報年６回発行

【活動の成果】

- 発会より４年を経て、会員数(世帯数　３４６、会員数９４４)が増加した。
- 里山保全活動により、多様な生物の生息が確保されている。
- 班活動への会員参加が増えた。
- 市内外の各種団体からの問い合わせ、見学や体験参加が増えた。
- 事務局員の仕事の組織化に努め、多くの業務を対処した。
- 一般市民が参加できる企画を増やし、会の周知を図れた。
  小・中学校の総合的な学習の対応が増え、過重労働気味になったがモデル事業としての成果を蓄積できた。
- 体験学習マニュアルを完成させることができた。教育関係者、環境教育に関わる団体などに活動を広める手立てとなった。
- 特定非営利活動法人の設立に向けての準備ができた。
- 各種メディアの対応が増えた。
- 助成金の受賞

① 子どもゆめ基金
② セブンイレブンみどりの基金
③ 全労済環境活動助成金
④ 子ども未来ファンド
⑤ かながわトラストみどり財団　環境学習推進支援事業助成金

団体名	鎌倉の自然を守る連合会	会員数	4,200世帯（７自治・町内会）	代表者	大木章八さん
活動目的	広町緑地保全・維持・管理活動				

【活動の内容】

１、＜活動方針＞

連合会（７自治・町内会）は25年にわたり、広町緑地の保全運動を展開し、その開発行為を阻止し、全面保全を獲得した。その歴史的成果をふまえ、同緑地の有意義な都市林公園を構築し、これを後世に継承していく責務を遂行し、その活動に資するため活動している。

２、＜活動内容＞

１）都市林公園構築に参画――広町緑地の都市林構築に関して全市的な立場に立ったシステム化を図ることを市に要望し、主な市民団体の話し合いの場として「市民懇談会」が発足することになり、市民団体と４つの作業部会で「新・市民懇談会」として再出発し、将来に向け自立した運営組織を立ち上げ、有意義な都市林公園を構築していく。

２）連合会加盟自治・町内会の意見吸収――広町緑地周辺住民の都市林公園に対する意見の吸収に努めて、その声を都市林公園構築に反映する。

３）広町緑地の現場における保全・維持・管理活動への参画――、市の公募市民や市民団体が下記の４つ会をつくり、現場活動をしている。それに参加・協力している。

① 森の会――草刈、倒木の処理、観察路の整備、などの森の手入れ。

② 自然観察の会――連合会が行ってきた自然観察記録は５冊発行してきた。現在は市民公募した市民組織として、生態系を守るため、生物の生息分布調査をし、保護と観察を続けている。

③ 畑の会――大根、人参、サツマイモなどを栽培し、環境教育に資する。

④ 田んぼの会――田んぼの復元。市民公募の参加者も含め、田植え、稲刈りをしながら環境教育に資するとともに生態系の多様化を図る。

４）運動史編纂――25年間の保全運動の攻防を後世に伝え、今後の緑地保全運動の参考になるよう記録を一冊の本にまとめ、発行する。18・19年度に膨大な基礎資料を作成し、編集を経て20年度発行をめざしている。

５）広報活動――「連合会ニュース」、ホームページ、で広町緑地の情報流す。

６）企画活動――自治・町内会のコミニケーションを図り、各自治・町内会の開催するイベントに参加、交流をはかる。

７）他団体との交流――トラスト市民団体との交流を続け情報交換し、緑保全の情報を共有している

８）これらの活動のための定例会議――定例役員会月１回開催し、随時常任委員会開催

【活動の成果】

１、長年の広町緑地の保全運動で全面保全を獲得した連合会はこの森を有意義な都市林公園にしていく責務がある。広町緑地維持管理にかかわり、自立した運営組織をつくるべく周辺自治会として取り組んでいる。

２、広町緑地の保全運動の運動史発行に向け編纂中、今年度発行予定

団体名	鎌倉の海を守る会	会員数	役員20名 （会員システムをとっていないため）	代表者	河合涼太さん
活動目的	腰越漁港海岸環境整備事業問題をきっかけに立ち上がった、海を愛する地元市民が発足。海岸美化を中心にかまくらの自然を維持、保全、回復し、それを次世代へと継承することを目的としている。				

【活動の内容】

会報発行年３回（４月、７月、11月）。ホームページでも報告。

・H19/5/6　ビーチクリーンアップ：雨天のため中止

・5/26　第2回浜の植物観察会：参加者10名、国道拡張計画で工事予定の場所にハマヒルガオ、ハマエンドウの花などがみられた。

・５/31校外学習受け入れ：
鎌倉市立第二中学校二年生数名、総合学習の一環。鎌倉の海のゴミの現状についての説明後、データアップのビーチクリーンアップを体験。

・6/11第８回磯の自然観察会：参加27名、姥ガ谷の磯で講師の指導のもと生物を観察。海草で押し葉を製作。終了後、生き物はすべて磯に返した。

・7/10～7/17 鎌倉駅地下道にて活動発表展示：
今回で7回目。活動の様子の写真やパネル、磯観察会で作った海草押し葉や海岸のゴミで製作したオブジェを展示。

・7月末～8月末　ビーチパトロール：
海水浴期間中、ビーチクリーンを行いながら吸殻入れを配付、海浜利用者にタバコのポイ捨て防止とゴミ持ち帰りを呼び掛けた。参加延べ人数は83名。延べ出動回数20回。今年は横浜の高校生グループ、愛知からの旅行者などの参加もあった。

・９/24　ビーチクリーンアップ：
秋は国際ビーチクリーンアップキャンペーンの一環で、散乱ゴミの調査も合わせて行う。参加総数1078名、回収したゴミ総重量4703kg、うち可燃3512kg、不燃1191kg。駐輪場や海岸に、不法投棄と思われる小型テレビや自動車ホイール、海の家の廃材など、台風直後で流れ着いた以外の大型のごみもあった。

・10/13　パタゴニアスピーカーシリーズにて活動報告

【活動の成果】

ビーチクリーンアップ：
会の活動で最も長いものの一つで地域で知る人も増えた。1997年以来市内海岸全域で年２回行っている。春の回は市主催「クリーンアップかまくら」海の部の実施主団体。

浜の植物観察会：
市内海岸でほとんど失われた浜の植物群落を、わずかに残る鎌倉高校前駅付近の海岸で観察。海と陸の接点に生育し潮風や飛砂を防ぐ役割をになっている海岸性植物の重要性を知り、分布状況を見て歩く。

校外学習受け入れ：次世代へ地元の海の自然を守る大切さを伝える機会として、総合学習で訪れた生徒を受け入れた。

磯の自然観察会：
鎌倉在住でも海に親しむ機会の少ない方や、小さいお子さんと磯を体験する方の参加が多く、鎌倉の海の豊かさや身近な自然の大切さ、保護の重要さを理解するきっかけになっている。毎年５，６月の大潮の週末に行う。

ビーチパトロール：

1998年から続く活動。毎年参加の社会人、学生もいる。土・日及び祭日を強化日とした。重点パトロール地区は、材木座、由比ガ浜、坂ノ下海岸。
神奈川県美化運動推進功労者賞・団体の部、受賞

団体名	ＮＰＯ法人 鎌倉広町台峯の自然を守る会	会員数	600人	代表者	横川節子さん
活動目的	鎌倉市内のみどりの保全と里山の復元				

【活動の内容】

広町台峯の四季の自然のうつりかわりを、市民に呼びかけハイキングを実施して観察する行事をしています。

桜、藤、桐の花が年々美しく咲くこと、ホタルの数が増えていることから、自然の手入れをすることが大切だ、ということを実感していただき、ボランティア活動への参加をよびかけました。

広町の田畠の復元作業には、幼稚園児、小中高生、その保護者も参加し、その数は年々増えてきています。

又、鎌倉市内外の中高生に広く鎌倉に就いて作文を書いてもらう作文コンクール事業をしています。

表彰式には市の教育長も参加下され、中学生を励ましていただいてます。入賞した作文の文集を発行しています。

広町の田畠のみのりを小川倉一先生に画いていただき絵ハガキを発行しました。

【活動の成果】

自然と土地にまみれてふれあうことから、ナショナルトラストの意味を正しく知り、募金もあつまりました。

祖父母、両親、子どもと三代が同じ作業をし、家族の会話がゆたかになっています。

団体名	NPO法人鎌倉広町の森市民協議会	会員数 1,042人	代表者 家原義靖さん
活動目的	① 広町緑地の都市林公園の実現に向け、市民の意見を喚起、集約して、当面の目標である実施計画に反映させる。 ② 広町緑地の保全･維持管理･利用に積極的に参画し、市民主体の自立した運営組織の確立を目指す。		

【活動の内容】

1. 活動方針（基本姿勢）
   ① 現場活動の更なる強化（三現主義）
   ② 現場活動要員の育成･強化
   ③ 会員とのコミュニケーションの充実と広報活動の強化
   ④ 組織･財政基盤の強化
2. 活動内容
   (1) 都市林公園の実施計画に向けて、市担当部門と緑地保全、管理体制などを話し合うため、市と広町緑地関連８団体で、広町緑地の管理運営に関する懇談会を開催
   (2) 市、広町緑地関連団体および市民の連携した「4つの会」による保全･維持管理活動
      ① 樹林地の手入れ、植林、散策路の整備など―「広町森の会」（2回/月）

② 田んぼの復元―「広町田んぼの会」(4回/月)
③ 畑の復元―「広町畑の会」(4回/月)

④ 樹林地、谷戸の植物、水生生物、野鳥などの観察―「自然観察の会」(班毎に設定)
⑤ 4つの会の共同作業:里山雑木林の復元、浄化池の維持管理、収穫祭の開催など

(3) 市民協議会独自の活動
① 緑地保全・維持管理のための「広町パトロール」と散策路の整備(2回/週)
② 活動リーダー・要員育成のための「広町から学ぶ会」(2回/月)
③ 「かまくら緑の探偵団」の運営と次世代の育成(定例会:1回/月)
④ 御所谷入口の「トイレの清掃・管理」(土・日曜、祭日)と維持管理活動の用具購入・管理
⑤ 各種イベントの開催(数回/年)と広町緑地のガイド(随時)
⑥ 「協議会ニュース(隔月)」、「広報誌:広町の風(季刊)」の発行、HP(http://www.hiromachinomori.or.jp)などによる広報活動
⑦ 「広町の森への道順と散策マップ」を西鎌倉駅と御所谷入口に設置
⑧ 小・中・高校の生徒を対象とする「環境教育(総合学習)」への協力(随時)
⑨ 広町緑地の未購入土地(含む、室ケ谷エリア)の購入または借地のための「トラスト活動」
⑩ 「緑の羽根・緑の募金」活動
⑪ 理事会の開催(1回/月)

【活動の成果】
1. 保全・維持管理活動の定着と連携強化
4つの会による保全・維持管理活動の活発化および4つの会の共同作業の推進
2. 会員のみならず一般市民の広町緑地の利用の増加
① 収穫祭(2回目)参加市民の倍増(うち、子どもたちは3倍増)
② かまくら緑の探偵団参加者の倍増(過去1年間)

団体名	鎌倉ホタル保存会	会員数	10名	代表者	前山洋子さん
活動目的	環境美化を目的にホタル育成と保存の啓蒙				

【活動の内容】
事業
1 水質検査
2 カワニナの放流（２K）
3 芹を植える
4 川辺の緑地の植樹（菖蒲を１０株）
5 陶器の椅子とテーブルを購入

清掃
1 除草 1年間に５回
2 缶、ゴミ、ビニール袋

研究
1 小・中学生によるホタルの一生の発表
2 カワニナの飼育

啓発活動

1　自然の生態系を保全するよう行政への働きかけをおこなっている。

【活動の成果】

長年啓発活動をおこなってきているが、なかなか成果は見られない。

団体名	鎌倉ボランティアクラブ	会員数	734名	代表者	中山　芳信
活動目的	まちの美化活動・廃棄物の削減と地域との共生				

1．まちの美化活動

【活動の内容】

三菱電機（株）鎌倉製作所、三菱電機インフォメーションシステム（株）湘南事業所及び関係会社（６社）[*1]の有志を募り、通勤に利用させていただいている工場周辺の道路を、隔週清掃する「通い道クリーン活動」を行っています。

また、鎌倉市が共催する「クリーンアップかまくら２００７」にも有志を募り参加しています。

【活動の成果】

（1）定量的な成果

①通い道クリーン活動：２００７年度　７３４名参加

・清掃範囲：工場周辺

②クリーンアップ鎌倉：２００７年度 合計１３６名参加

（2）環境への効果

タバコの吸殻、ゴミを拾う清掃活動により、工場周辺の美化維持及び公共河川の汚染防止が図れた。また、鎌倉市の美化活動にも貢献できた。

（3）その他の成果

クリーンかまくら条例の「事業者の責務」を実践することにより、従業員へのより一層の条例周知へとつながっている。

2．廃棄物の削減

【活動の内容】

各社員、関連会社員が読み終え不用となった本・ＤＶＤ・ＣＤを持ち寄り、会社グランドで開催されるサマーフェスティバルにおいて『古本まつり』と題して、社員、関係会社及び地域住民の方々の希望者に無償で提供しました。その際に募った寄付金は、(財)かながわみどりトラスト財団に寄付し、県の緑化活動に活用いただきました。

実施風景

【活動の成果】
（1）定量的な成果
回収された古本冊数：約1，１０９冊、ＣＤ、ＤＶＤ：９４枚
無償提供冊数：約1，１０９冊
募金額：１７，１７８円
募金額全額を、神奈川県環境農政部緑政課を通じて、(財）かながわトラストみどり財団に全額寄付しました。
（2）環境への効果
約1，１０９冊の古本が資源ごみ、９４枚のＣＤ・ＤＶＤが廃プラスチックとして廃却されずリユースされ、焼却場までの輸送時、及び焼却される時にでるＣＯ２の削減となった。
また、募金活動を通して、地球の緑を守る活動の啓発と基金への貢献をすることができました。
（3）その他の成果
地域住民の皆様から、多くのご好評を頂き、良好なコミュニケーションを図ることができた。これらの活動により「地域との共生」に貢献できました。

*1：関係会社
三菱プレシジョン（株）　菱電湘南エレクトロニクス（株）
三菱スペースソフトウェア（株）　菱栄テクニカ（株）
三菱電機特機システム（株）　三菱電機エンジニアリング（株）

団体名	ＮＰＯかまくら緑の会	会員数	55　名	代表者	高柳　英麿
活動目的	緑化の推進、自然保護、美化清掃、環境教育				

【活動の内容】
◇若宮大路グリーン・クリーン運動
平成６年度より、毎年世界環境月間に当たる６月の第一日曜日に、若宮大路のクリーン運動を行っている。例年、歩道や植栽帯の清掃・手入れを行政や市内の環境団体、地域住民、市民と協力して行っている。平成１９年度は6月３日に行った。
◇若宮大路の花の点検、および花植え
鎌倉駅前から若宮大路に続く県道鎌倉停車場線と、若宮大路のニノ鳥居から下馬間の歩道の花壇やフラワーポットに花を植え、手入れを行っている。停車場線は鎌倉駅東口街路樹愛護会の方々と協力し、年に３回ほど花の植え替えを行っているが、毎月の活動は第２木曜日。
◇植樹
市の木ヤマザクラを市内各所に植樹している。１９年度はかながわトラスト財団を通じ、国の森づくり財団より助成を頂き、覚園寺と八幡宮に植樹を行った。
また、以前に植樹をした若宮大路（とうきゅう駐車場周辺)、鎌倉山、頼朝桜道などの点検と手入れを地元の方々と供に行った。

◇講演会
ＮＨＫ「ラジオ深夜便」を担当し、園芸関係に造詣の深いニュースキャスターの須磨佳津江さんと市内在住で癒しの音楽家として親しまれている青木由有子さんをお招きして「音楽と講演の集い」を行った。１１月４日
◇視察･見学
鎌倉市内をはじめ、他の市町村の緑や自然環境の様子を知ること、また会員同士の親睦を計ることを目的に年４、５回行っている。
１９年度は葛西植物園の視察、河津・墨田川の桜の見学を行い、ほかに桜や緑のボランティア交流会に参加した。
◇世界遺産登録を目指して
市民の皆さんに世界遺産を身近に知っていただくため、昨年の「並河萬里写真展」に引続き、カナダの「ブッチャートガーデン写真展」を開催し、大勢の方にご覧いただいた。

【活動の成果】
平成６年に始めたクリーン運動は今では全市域に広がり、市民の環境への関心の深さを感じている。また、若宮大路や停車場線の花壇の花は市民だけでなく観光客にも喜ばれており、「潤いのある町づくり」を目指す当会の活動の励みとなっている。
世界遺産登録を目指す町のため、市の取り組みにも協力しているが、１９年度は講演会、写真展を開催し大勢の入場者があり、世界遺産登録の重要性を考えていただけたことと思う。

団体名	NPO法人　鎌倉リサイクル推進会議	会員数	128名	代表者	木村陽子さん
活動目的	ごみの発生抑制、減量や資源化の市民意識の啓発、廃棄物の再利用促進活動を推進				

【活動の内容】
〔展示部会〕
- ◆ 常設展示　(通年)
- ◆ 秋のリサイクル作品展　(10 月～11 月)
- ◆ クリスマス飾りの展示　(12 月)
- ◆ 鎌倉駅地下道ギャラリー展示　（７月・３月）

〔情報部会〕
- ◆ かわら版（行事日程とその内容案内）　毎月発行
- ◆ 会報「ラ・ラ・ラ」(会の活動紹介)　１７号　１回発行
- ◆ 情報シート（リサイクル実践に役立つ情報）　６回発行
- ◆ ホームページの更新（12 回)
- ◆ 研修：環境展(５月)　エコプロダクツ(12 月)
- ◆ 講師　住友常盤自治会「ごみ減量化について」（７月）

〔学習部会〕
- ◆ ごみ発生抑制、減量・資源化の促進を目的に学習会を３回企画・実施
  1. 夏休み鎌倉市ごみ処理施設見学会　（８月）
  2. 鎌倉市のごみ行政を学ぶ　最新の取り組みとこれから（１１月）

3. 未来へのおくりもの　　エコライフで地球温暖化防止（３月）

〔イベント部会〕

◆ リサイクルマーケット　　（４回／５・７・９・11 月／毎回約 60 店舗）
◆ こどもリサイクルマーケット同時開催　（７月）
◆ 不用家具のリサイクル　　（２回／６・12 月）
◆ 古着・古本無料掘出し市　　（１回／３月）

〔生活の知恵教室〕

◆ 全 221 教室を開催。
・生ごみ減量教室（６回）　　・廃食油石けん教室（４回）
・修理修繕教室（４回）　　・リサイクル手芸教室（65回）
・衣類リフォーム教室（29回）　　・衣類お直し教室（22回）
・リサイクル工作教室（30回）
・裂き織り、布ぞうりづくりその他教室（61回）

（注：活動内容は鎌倉市からの受託事業と自主事業を合計したものです。）

【活動の成果】

事業実績数は受託事業（182回・2,946人）、自主事業（98回・3,411人）合わせて280回の事業を実施し、参加人数は延べ6,357人でした。

団体名	キープかまくらクリーン推進会議(略称 ＫＫＣ)	会員数	28名	代表者	髙田晶子さん
活動目的	まち中の散乱ごみと落書きゼロをめざした美しいまちづくりと人づくり				

【活動の内容】

1　まち美化／まちづくり

☑ かながわ海岸美化財団団体交流会（２/17）〔参加〕
☑ 懇談会「大船駅笠間口周辺の美化問題について」(1/9)〔ゲスト：鎌倉市環境部環境保全推進課、景観部都市景観課、拠点整備部大船駅周辺整備課各課長、都市整備部道水路管理課横浜市栄区役所 総務部地域振興課資源化推進担当(オブザーバー出席)、出席〕
☑ KKC を含む４団体活動事例発表（5/12）〔市民活動フェスティバル〕
☑ クリーンかまくら連絡会 5 周年記念行事(10/13)講演と映画「不都合な真実」上映〔参加〕

１－１　ポイ捨て防止／散乱ごみ清掃

清掃活動

- ☑ 若宮大路（正月三が日）〔自主〕
- ☑ 若宮大路（GW3日間）〔自主〕
- ☑ 鎌倉体育館前柵の下土掻き作業〔自主〕

防止活動

- ☑ 花火大会（8/10）〔協働〕
- ☑ 市役所から駅まで「通い道クリーン運動」（毎月、定例会時）〔自主〕

報告／提言等

- ☑ 散乱ごみの量・ごみ箱の状況・観光客の様子等、現場の報告。
- ☑ 課題の抽出と次年度に向けた改善策の提案。（関連行政担当窓口、観光協会等）

- ☑ 市役所職員の「通い道クリーン運動」への参加拡大、働きかけ。

１－２　落書き防止／落書き消し

消去活動

- ☑ 逗子海岸擁壁（6/23）〔協働〕
- ☑ 山崎跨線橋横民家長塀（11/6）〔協働〕
- ☑ 腰越商店街沿線（3/9）〔協働〕
- ☑ 七里ガ浜海岸擁壁（通年）〔自主〕
- ☑ 寺分サーフガレッジシャッター（1/6）〔自主〕
- ☑ 由比ガ浜歩道橋周辺（1月～）〔自主〕

報告／提言等

- ☑ 逗子海岸擁壁落書き消去を全面支援
- ☑ JR・市との協働。長年懸案だった東海道沿線の民家長塀の落書き
- ☑ 腰越小学校ＰＴＡとの連携

防止活動

- ☑ 市内パトロール（通年）〔自主〕
- ☑ 「通い道クリーン運動」パネル展示
  - ① 市民活動フェスティバル（5/12-13）
  - ② 地下道ギャラリー(11/27-12/3)〔参加〕

- ☑ 国道134号線沿い、市街地一帯
- ☑ 「通い道クリーン運動」を紹介。三菱電機鎌倉製作所、市役所職員等

＜活動の成果＞

☑ 逗子落書き消し隊の求めに応じ、逗子海岸地下道（1 号～11 号）落書き消去活動をサポートした。これを機に、逗子との市境（国道 134 号線沿い・逗子隧道）の落書き消去を横須賀土木事務所にお願いし実現。落書きのないまちの広がりと活動の広がりは大きな成果であった。

＜特記事項＞

☑ ①鎌倉市まち美化行動計画に関する意見について
②鎌倉市落書きのないまちづくり行動計画の策定について
市は意見公募を行いＫＫＣ会員も応募した。

☑ 鎌倉市は路上喫煙防止に関する条例素案づくりに着手

＜今後の課題＞

☑ 神出鬼没、何度でも反復的に発生する落書き常習者への対策。

団体名	湘南・省エネネットワーキング	会員数	24名	代表者	前島　仁さん
活動目的	地球温暖化防止対策の普及啓発、環境教育・環境学習等の地域での省エネルギー推進				

【活動の内容】

1. 広報事業：イベント

① 神奈川県主催の環境フエア「アジェンダの日 2007」に出展参加した。
開催日：10 月 20～21 日　場所：横浜産業貿易センター
出展内容：会員の省エネなどの取組事例(省エネの工夫と成果)、太陽光発電の設置事例を紹介した。2日間で約 40 組の方々がブースに来場され、省エネ照明の展示が子供向けに好評であった。

② 5 月 12 日～13 日開催の「かまくら市民の日」にパネル出展で参加した。

2. 教育事業

① かまくら環境市民大学：3回開催して合計 33 名が参加した。
第1回　6月24日　「家庭の安全と省エネ」
＊基調講演は外部から講師（エベレスト最高齢登頂成功者）を招聘
第 2 回　10 月 28 日　「家庭での省エネ・節約術」　＊婦対象
＊基調講演は「エコライフ住宅」を紹介
第 3 回　2 月 24 日　「家庭での省エネ・節約術」　＊若者対象
いずれも家計に易しい省エネの内容であり、タイムリーな話を参加者は強い関心をもって聴講した。また、パネルディスカッション形式で、全員が自由に意見交換をした。貴重な話を聞いて帰るだけではなく、何らかの行動を起すことが大切との認識で、会場の参加者から多くの賛同を得られた。具体的には、自宅で既に実践している省エネルギーへの取り組み、後援から得られた省エネルギーへのアイデアについてであった。 閉会時には、本日の話し合いから一つでも良いから何か実践してみようという契機が得られたという意識が醸成されていた。

② 市内での環境学習：校長会で説明し、出前授業を七里ガ浜小、今泉小、山崎小、玉縄小で実施した。

3. 普及事業

① 省エネナビの普及：地域の知人などに呼びかけ、省エネナビの導入を図った。

4. 調査・研究事業

① 省エネ優良販売店の調査・評価を継続実施し、地域別のランキングを総合評価を行った。

② 会員の家庭での省エネデータを収集し、電気・都市ガス・水道等のデータを継続的に取りまとめた。

5. その他

① 鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画策定作業部会に委員として参画

② 会員の活動紹介：ⅰ自家用車の小型化と燃費低減、ⅱ電気を使わないシンプルライフ「アーミッシュの里」を訪ねて、ⅲ手書きのニュース“Save our Earth”の配信など

【活動の成果】

当団体は京都議定書採択の翌年発足し、「温暖化対策の普及啓発活動」は10年目を迎えようとしている。家庭生活でのライフスタイルの見直し（無駄なエネルギー消費をなくす）が進みつつあり、これまでの点・線から、今日では面的大きな広がりを実感している。